

令和7年度

北海道生活科・総合的な学習教育連盟

全道総会



日時 令和7年5月16日(金)17:30~

今年度の総会につきましても、全道の会員の皆様とオンラインでつながりながら行わせていただきます。御理解と御協力をお願いいたします。

令和7年度

全道総会

令和7年5月16日

1 開会

2 委員長挨拶

加藤 秀樹 委員長

3 議長選出

4 報告事項

(1) 令和6年度活動報告 丹羽 洋彦 事務局長

①事務局活動報告

②情報部・組織部活動報告

③研究部活動報告

(2) 令和6年度会計決算報告 渡辺 一生 事務局次長・会計部長

(3) 令和6年度会計監査報告 川見 明子 監査

5 審議事項

(1) 令和7年度活動計画 丹羽 洋彦 事務局長

①事務局活動計画（全体に関わって）

②情報部・組織活動計画

③会計部活動計画

④研究部活動計画 小山 恒 研究部長

(2) 令和7年度予算案 渡辺 一生 事務局次長・会計部長

(3) 令和7年度新役員選出 照井 史絵 組織部長

6 連絡事項

(1) 事務局体制について 丹羽 洋彦 事務局長

(2) 全道夏季研修会について 主管：オホーツク地区 大西 篤 会長

(3) 全道研究大会釧路大会について 主管：釧路地区 照井 貴幸 会長

事務局・各部 活動報告

令和7年5月16日

1 経過報告

月 日	内 容
5月11日（土）	第9回 侃々諤々「生活・総合学びの可能性を広げる手引活用法」
5月13日（月）	第1回 役員会・部長会（オンライン）
5月17日（金）	令和6年度 全道総会（教育大サテライト オンライン）
5月23日（木）	第1回 道・市会員連絡会（オンライン）
6月6日（木）	第2回 役員会・部長会（オンライン）
6月17日（月）	第2回 道・市会員連絡会（オンライン）
6月22日（土） 23日（日）	学会新潟大会（自由研究発表 札幌地区）
7月9日（火）	第1回 全道代表者研修会（オンライン）
7月13日（土）	第10回 侃々諤々「今から始めるゼロからの生成AI」
7月17日（水）	第3回 役員会・部長会（オンライン）
7月27日（土）	第32回 全道夏季研修会（土別市民文化センター オンライン）
8月2日（土）	札幌地区主催 第3回 JOIN US！
8月27日（火）	第3回 道・市会員連絡会（オンライン）
9月7日（土）	函館地区主催 秋季研修会
9月24日（水）	第4回 役員会・部長会（オンライン）
10月3日（木）	第2回 全道代表者研修会（オンライン）
10月5日（土）	第11回 侃々諤々「論点整理ってなあに？」
10月11日（木） 12日（金）	第33回 道生活科・総合的な学習教育研究大会 旭川大会（旭川市立高台小学校）
10月17日（木）	第4回 道・市会員連絡会（オンライン）
10月25日（金）	札幌地区主催 第4回 JOIN US！
11月7日（木） 8日（金）	全国生活科・総合的な学習教育研究協議会 岩手・盛岡大会
11月18日（金）	第5回 役員会・部長会（オンライン）
11月28日（木）	第5回 道・市会員連絡会（オンライン）
12月5日（木）	第6回 役員会・部長会（オンライン）
12月8日（水）	新HP操作講習会（教育大サテライト・オンライン）
12月13日（木）	第3回全道代表者研修会（オンライン）
2月13日（木）	第7回 役員会・部長会（オンライン）
2月15日（土）	函館地区主催 冬季研修会
2月16日（日）	第12回 侃々諤々「どうなっていくのか？シン・学習指導要領」
2月23日（日）	全道冬季研修会（オンライン）
2月25日（火）	まなぼう屋なよろ ZOOM学習会「TUNA-GARI」56
3月6日（木）	第6回 道・市会員連絡会（オンライン）
3月14日（金）	札幌地区主催 第5回 JOIN US！
3月18日（火）	第8回 役員会・部長会（オンライン）

2 事務局活動報告

◇全道総会

日時：令和6年5月17日（土）教育大サテライト（オンライン）

◇第32回 全道夏季研修会（オンライン／参集開催）

日時：令和6年7月27日（土）

会場：士別市民文化センター

内容：研修会、講演会など

講師：齋藤 博伸氏（文部科学省 教科調査官）

◇第33回 北海道生活科・総合的な学習教育研究大会 旭川大会

日時：令和6年10月11日（金）12日（土）

会場：旭川市立高台小学校

内容：授業公開、授業分科会、シンポジウム、講演

講師：齋藤 博伸氏（文部科学省 教科調査官）

◇全道冬季研修会

日時：令和7年2月23日（日）9：30～12：00

会場：札幌市立緑丘小学校 オンライン開催

内容：全道大会報告 地区実践発表

（後志地区：細川教諭 函館地区：遠藤教諭 留萌地区：栗本教諭）

3 学会・全国協議会の全国大会について

（1）日本生活科・総合的学習教育学会 第29回全国大会「新潟大会」

期日：令和6年6月22日（土）～23日（日）自由研究発表 6月22日（土）

※自由研究発表…札幌地区より発表者（川股教諭）を派遣

（2）第33回全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会「岩手・盛岡大会」

期日：令和6年11月7日（木）8日（金）

課題別分科会 視点2：深い学びの実現につながる単元構成（生活）

『手応えのある学びからつながる深い学び～幌西スマイルたんけんたい～』

提言者：福井 貴大（札幌市立米里小学校）

司会者：田中 美紀（札幌市立札苗北小学校）

指導助言者：川見 明子（札幌市立西岡北小学校）

4 各部の活動報告（研究・会計部以外）

（1）組織部

- ・D.Oネットの計画的な発行を行った。
- ・各地区に原稿を事前に依頼することで発行がスムーズにできた。
- ・組織拡大に向け、今後も取組を進めていく必要がある。

（2）情報部

- ・新HPの開設など、情報発信の幅が広がった。会員外も学べる情報量となった。
- ・さらに各地区と連携して取り組む必要がある。

会計部 活動報告

―――――― 令和7年 5月 16日

1 活動報告

月	業務内容
5	全道総会 会計手続きの確認【役員会・事務局会議】
6	各地区への分担金（地区加盟費）の納入の依頼状の送付
7	全国協議会分担金の納入 地区加盟費納入状況の確認【全道代表者研修会】
8	
9	会計執行状況の確認【役員会・事務局会議】 地区加盟費納入確認（未納地区事務局長への連絡）
10	地区加盟費納入確認（未納地区事務局長への連絡）【全道代表者研修会】
11	会計の執行状況の確認【役員会・事務局会議】
12	地区加盟費納入完了
1	
2	会計の執行状況の確認【役員会】
3	会計部活動報告・次年度活動計画の作成 決算書・予算案の作成【事務局会議】 会計監査

2 成果と課題

（1）地区加盟費徴収

- 各地区のご協力により、予定通り地区加盟費を徴収することができた。
- 学会全国大会がオンライン開催になった間の対応により備蓄会計の積立金が増えている。
- 地区の再編に伴い、各地区の会員数に応じた地区加盟費の改訂を進めていく必要がある。

（2）決算書の作成と会計の執行について

- 予算に応じて、適正に会計を執行することができた。
- より現状に見合った一般会計の予算編成と備蓄会計の仕組みを確認し、今後の見通しを明らかにする必要がある。

研究部 活動報告

令和7年5月16日（土）

1 活動報告

（1）全国大会 研究発表

協議会（岩手大会）においては、札幌地区の福井先生より提言発表がされた。

学会（新潟大会）においては、札幌地区の川股先生、旭川地区の小原先生より提言発表がされた。

（2）全道大会の成果と課題

H30 全国大会

【提案】 新学習指導要領における生活・総合 ポイントを踏まえた実践提案

【検証】 主体的・対話的で深い学びに向かう授業の在り方

連盟が大事にしてきたこと

生活・総合の本質～北海道・発～深い学びの具体

R1 全道（旭川）大会

【提案】 H30年全国大会の成果と課題を受け、これから的生活・総合で育つ子どもの姿の発信

【検証】 「骨太な子ども」を育成する授業の在り方

連盟が大事にしてきたこと

生活・総合の本質～新・不易と流行～深い学びの検証

北海道からの新たな提案
主体的・対話的で深い学びの在るべき姿

R2 全道（釧路）大会（中止）

【提案】 R1年全道大会の成果と課題を受け、これから的生活・総合で育つ子どもの姿の発信

【検証】 学びのプロセス想定表を基にした授業の在り方

連盟が大事にしてきたこと

生活・総合の本質～自ら学ぶ～見取りの具体

子どもの見取りを評価に生かす
主体的・対話的で深い学びにつなげる教師像

R3 全道（函館）大会

【提案】 R1年全道大会の成果と課題を受け、これから的生活・総合で育つ子どもの姿の発信

【検証】 「自ら判断・決定し、学び続ける子ども」を育成する授業の在り方

連盟が大事にしてきたこと

生活・総合の本質～主体的な判断～新たな価値の獲得

子どものストーリーとして考える教材研究・分析
主体的・対話的で深い学びにつなげる教師の支援

R4 全道（北見・オホーツク）大会

【提案】 R3年全道大会の成果と課題を受け、これから的生活・総合で育つ子どもの姿の発信

【検証】 「自分発 自分行～学びを自分事として捉え、

本気で学び続ける子どもを目指して～」をテーマとした授業の在り方

連盟が大事にしてきたこと

生活・総合の本質～適切な評価計画からの授業改善～見取りの具体

本物の「問い合わせ」がある総合、本物の「思いや願いがある」生活科の授業
確かな「資質・能力」を育む授業

R5 全道（札幌）大会	【提案】 R4 年全道大会の成果と課題を受け、これから的生活・総合で育つ子どもの姿の発信	【検証】 「自分の学びを実感し、未来を拓く子どもの育成」をテーマとした授業の在り方	連盟が大事にしてきたこと	生活・総合の本質～学びに手応えを感じる
				自分自身で立てた問い合わせ自分で解決することに対する手応え 自らの学習を調整することに対する手応え 自分の力の伸びに対する手応え
R6 全道（旭川）大会	【提案】 R5 年全道大会の成果と課題を受け、これから的生活・総合で育つ子どもの姿の発信	【検証】 「よりよい未来を創造する子どもの育成」をテーマとした授業の在り方	連盟が大事にしてきたこと	生活・総合の本質～未来の創造、まちへの愛着
				まちへの愛着と誇りをもつ→まちらしい学びを創造する単元構成の吟味 自分ごととして本気に学ぶ→教育課程の質的改善 気付きの質を高める、概念の形成→授業改善の工夫

（3）全道夏季研修会

令和6年7月27日（土） 12:00～16:30

上川、旭川地区が主管となり、士別市民文化センターを会場に対面とオンラインによる開催

① 研修内容

【実践発表】 上川地区 小林先生

【指導案検討】

2年生生活科 いきものはかせになろう 授業者 入江 祐輝（旭川市立高台小学校）

4年生総合 福祉とまちの春光台と私 授業者 近田 泰斗（旭川市立高台小学校）

6年生総合 東っこプロジェクト～買物公園の今を考えよう～

授業者 菅 晃宏（旭川市立愛宕東小学校）

② 講演会

文部科学省初等中等教育局教育課程教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官 斎藤 博伸 氏

（4）全道大会

① 授業公開 令和6年10月11日（金）

2年生生活科 いきものはかせになろう 授業者 入江 祐輝（旭川市立高台小学校）

4年生総合 福祉とまちの春光台と私 授業者 近田 泰斗（旭川市立高台小学校）

6年生総合 東っこプロジェクト～買物公園の今を考えよう～

授業者 菅 晃宏（旭川市立愛宕東小学校）

② 課題別分科会 令和6年10月12日（土）

【分科会1】 生活科

オホーツク地区 発表者 谷口 寛人（網走市立東小学校）

上川地区 発表者 杉立 耕平（和寒市立和寒小学校）

【分科会2】 総合

札幌地区 発表者 中嶋 孝幸（北海道教育大学付属札幌小学校）

釧路地区 発表者 渡辺 達樹（浜中町立霧多布小学校）

③ 講演会

文部科学省初等中等教育局教育課程教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官 齋藤 博伸 氏

（5）全道冬季研修会

①旭川大会実践報告

②各地区実践発表

後志地区 発表者 細川あゆみ（黒松内町立黒松内小学校）

函館地区 発表者 遠藤 哲史（長万部町立長万部小学校）

留萌地区 発表者 栗本 将志（増毛町立増毛小学校）

2 その他

今年度は各地区研究部長を中心に、オンラインを利用した研修会が数多く行われた。

一般会計決算報告

《収入の部》

会計部

費目	令和6年度予算額	執行状況	差引	備考
前年度繰越金	41,656	41,656		
（内訳）	地区加盟費	183,000	183,000	0
	札幌地区	48,000	48,000	0
	旭川地区	27,000	27,000	0
	釧路地区	27,000	27,000	0
	函館地区	27,000	27,000	0
	留萌地区	12,000	12,000	0
	オホーツク地区	18,000	18,000	0
	上川地区	12,000	12,000	0
その他	0	39	39	預金利息
合計	224,656	224,695	39	

《支出の部》

費目	令和6年度予算額	執行状況	差引	
研究活動費	40,000	40,000	0	全道大会補助
（内訳）	研究交流費	115,000	115,000	0
	全国協議会 分担金	10,000	10,000	0
	全国理事会 旅費	50,000	50,000	0
	備蓄費	55,000	55,000	0
（内訳）	通信連絡費	5,000	6,658	(1,658)
	ホームページ運営費	2,970	6,328	(3,358)
	その他(郵送・通信)	2,030	330	1,700
会議費・事務費	10,000	0	10,000	会場費他
予備費	54,656	22,690	31,966	ZOOM契約料 年賀広告料
合計	224,656	184,348	40,308	

$$【収入の部】 - 【支出の部】 = 【差引残高】$$

$$224,695 - 184,348 = 40,347 \text{ 円}$$

差引残高は次年度に繰り越す

徴収、執行、帳簿等適正に処理されていることを認めます。

令和7年 4月 9日

会計監査

川見明子

川見

備蓄会計決算報告

会計部

《収入の部》

費目	令和6年度決算額	備考
前年度繰越金	215,038	
備蓄費	55,000	一般会計より
その他	80	預金利息
合計	270,118	

《支出の部》

費目	令和6年度決算額	備考
学会自由研究発表参加費	50,000	R6年度札幌地区
合計	50,000	

《収入合計》

270,118 — **50,000** = **220,118**

(次年度へ繰越)

徴収、執行、帳簿等適正に処理されていることを認めます。

令和7年 4月 9日

会計監査

川見明子

川見

業務内容・分担一覧

役職等	主な業務内容	備考
【役員】 委員長 副委員長 監査	<ul style="list-style-type: none"> ○部長会・役員会の運営 ○事務局員の委嘱 ○『全道総会』の主催 ○各地区研究団体との連携・支援 ○『全道研究大会』の主催（地区主管） ○『全道代表者研修会』の主催（年3回） ○『全道夏季研修会』『全道冬季研修会』の主催（地区主管） ○関係団体や機関との折衝・調整 ○その他、運営全般に関すること 	担当者は各地区総会を経て記載し、会員に送付
【事務局】		
事務局長 事務局次長 会計部長	<ul style="list-style-type: none"> ○全道各地区との調整 ○関係機関との折衝・調整 ○年間計画・運営案の作成 ○懸案事項の取りまとめ ○各部の連絡調整 ○役員会の指示に関すること ○部長会・会員連絡会等の運営 ○発注・契約事務（会場等） ○学会北海道支部事務局としての業務 	事務局長、主幹地区事務局との役割分担を明確化
	<ul style="list-style-type: none"> ○会計に関すること * 予算案の作成、決算報告（全道総会時） * 地区負担金の徴収事務 * 予算執行 	
研究部長 副部長 (各地区研究部長) 部員	<ul style="list-style-type: none"> ○『全道研究担当者研修会』の主催 ○研究方針の策定 ○各地区研究部との連携・支援、地区研究情報の交流 ○『全道夏季研修会』『全道冬季研修会』に関すること * 研修内容の企画協力 * 実践資料集『DOKO Y A』の作成 * 主管地区への運営協力 ○全道研修事業の企画・運営 ○全道大会等の記録・保存 	各地区とのつながりを深め活性化へ
組織部長 副部長 部員	<ul style="list-style-type: none"> ○組織拡大に伴う業務 * 入会案内の作成、個人会員への対応 ○研究大会等の案内 ○全道役員・会員名簿の作成、『職員録』原稿関係 ○情報交流誌『DO!ネット』に関すること ○庶務的事務全般 * 諸会議の案内、委嘱状、派遣依頼等の作成・送付 ○道連盟関係資料の収集と保存 ○1年間の歩みの作成・保存 	研究部・情報部と連携し組織拡大へ
情報部長 副部長 部員	<ul style="list-style-type: none"> ○『全道情報担当者研修会』の主催 ○連盟ホームページ『北の大地・発』の発信・管理 ○各地区的活動計画の把握や支援 ○関係研究団体の研究情報等の収集・交流 	新HPの活用とさらなる情報発信

事務局 各部 活動計画

令和7年5月16日

1 今年度の重点 ■全道のつながりを深める 研究の深化+組織強化へ■

- ◆ 「全道研究大会」「全道夏季研修会」における実践の提案・検証および研鑽
- ◆ 地区実践の発信と交流（全道代表者研修会等の工夫、連盟HPの充実）

2 全道夏季研修会・全道研究大会の開催

(1) 第33回全道夏季研修会

主管：才ホーツク生活科・総合的な学習教育研究会
期日：令和7年7月26日（土）午後 *オンラインによる配信あり
内容：講演会、実践交流、釧路大会の指導案検討
講師：北海道大空高校 校長 大辻 雄介 氏

(2) 第34回北海道生活科・総合的な学習教育研究大会「釧路大会」

主管：釧路市生活科・総合的な学習教育研究会
期日：令和7年10月 3日（金）午後～4日（土）午前
会場：《1日目》教育大学附属釧路義務教育学校、厚岸町立真龍小学校、釧路町立別保小学校
《2日目》釧路市生涯学習センター
内容：《1日目》公開授業・全体会・授業分科会 《2日目》課題別分科会・講演会

3 学会・全国協議会の全国大会について

(1) 日本生活科・総合的な学習教育学会 第34回全国大会「山形大会」

期日及び開催地：令和7年6月28日（土）29日（日）山形市

(2) 第34回全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会「広島大会」

期日：令和7年11月13日（木）14日（金）
内容：13日（木）午後 全体会・シンポジウム・記念講演・全国理事会・レセプション
14日（金）全日 公開授業・授業研究会・課題別分科会等

4 各部（組織部・情報部）活動予定

(1) 組織部…組織拡大へ

- ・各地区組織・会員情報の集約・管理・更新
- ・DOネットの作成・送付（年3回①全道総会②夏季研修会③全道大会）
- ・夏季研修会、冬季研修会の記録データ保管
- ・派遣依頼の作成 出席者確認

(2) 情報部…研究情報発信

- ・HPによる情報発信
- ・情報資産の管理
- ・道HP書庫の管理・更新
- ・各地区との連携、各地区の情報集約、発信

5 全道夏季研修会・全道研究大会の主管地区

立候補の重複がないため、下記の内定地区の正式決定を一括提案させていただきます。

	全道夏季研修会	全道研究大会	備考
R 7	オホーツク地区	釧路大会	南北海道地区発足
R 8	★南北海道地区（内定）	★南北海道地区（内定）	校長会北海道大会（10月）
R 9		★オホーツク地区（内定）	
R 10		★札幌地区（内定）	40周年事業構想のスタート？
R 11		旭川：学会北海道旭川大会	夏季研：学会報告会？
R 12			連盟創立40周年

6 R19全国大会への立候補について

令和11年度に学会全国大会（仮称：北海道旭川大会）が開催されますが、その勢いを全道に広げ、さらに札幌の地につなげていくため、12年後のR19全国協議会全国大会（北海道札幌大会）への立候補を考えています。

全国協議会理事会（7月4日東京）において正式に立候補します。

＜目的やメリット＞

- ◎北海道各地区の研究実績の発信と外部評価の場
- 組織運営力の強化 ※現在の主要メンバーが管理職・ミドルリーダー世代に！
- 組織運営費の収入確保 ※全道大会等における講師旅費の捻出

（参考）全国大会の開催予定

- ◇全国協議会全国大会…R7 広島、R8 宮城、R9 滋賀、R10 大分、R11 神奈川、R12 熊本、R13 徳島、R14 東京、R15 香川、R16 京都、R17 高知、R18 大阪
- ◇学会全国大会…R7 山形、R8 福島、R9 佐賀、R10 愛知、R11 北海道（旭川）、R12 福岡

7 地区加盟費の減額について

各地区では会員数の減少や物価上昇に伴う支出増によって会計事情が厳しくなっています。そこで、今回は備蓄会計への支出を見直し、各地区的会員数調査をもとに、地区加盟費の減額する会計予算案を策定しました。

8 備蓄会計の縮減と廃止に向けて

備蓄会計は、学会全国大会の自由研究発表者を派遣するための旅費補助の資金です。現在、連盟会計における備蓄会計への拠出は毎年55,000円ですが、コロナ禍に学会派遣を中断したこともあり、備蓄会計の繰越金が発生しています。

そこで、新年度からは備蓄会計への拠出を10,000円に減額し、学会北海道旭川大会の前年度をもって備蓄会計の運用（旅費補助）を廃止することとします。

これにより、会計支出が削減され、地区加盟費の減額につながります。

9 全道冬季研修会の在り方について

全道冬季研修会は、令和4年のオホーツク・北見大会のオンライン課題別分科会を冬休みに開催したことがきっかけとなり、その翌年から続いている。

ところが、今年度から冬休みの期間が短縮となり、また、1～2月は各地区的会議や研修会等が行われることが多く、開催日の設定が難しい状況です。

現在、1～2月には各地区でオンラインの研修会・学習会が盛んに行われているようです。このあたりの動きを参考に、研究部で全道冬季研修会の在り方（発展的見直し）を検討していきます。

各部 年間活動計画一覧

月	日	連盟の主な活動	事務局長・次長 会計部	研究部	組織部	情報部
4		役員会・部長会	総会の企画・運営 総会資料の集約 予算案の提案 全道夏季研修会の再周知	全道研究担当者会の企画・運営 研究概論作成 各地区研究内容集約 各地区研究推進計画集約	総会等の出席者集約 各地区役員名簿の作成 活動計画の提案	H Pへの案内の掲載 全道情報担当者会の企画・運営 活動計画の提案
5	13 16 19 26	代表者研修会① 全道総会 役員会・部長会① 会員連絡会①	講師派遣依頼(全道夏季研修会) 加盟費納入のお願い(各地区へ) *予算執行開始	部会顔合わせ(引継等) 全道夏季研修会第1次案内送付と集約の依頼	部会顔合わせ(引継等) 会員名簿の作成と送付※道職員録原稿提出	部会顔合わせ(引継等) H P→総会の様子を掲載・全道夏季研修会の案内掲載
6	5 18	役員会・部長会② 会員連絡会②		全道夏季研修会第1次集約	「DO!ネット」作成・送付 夏季研修会派遣依頼の作成・送付(各地区)	
7	1 10 26	代表者研修会② 役員会・部長会③ ★全道夏季研修会 オホーツク地区	全道代表者研修会の企画・運営 全道夏季研修会の全体統括	全道研究担当者研修会の企画・運営 研修の企画・運営全道夏季研修会の最終打ち合わせと準備	夏季研修会の記録の保管	
8	26	会員連絡会③	全道代表者研修会の参加者の集約依頼	提言原稿の執筆		H Pへ全道夏季研修会の様子、全道大会情報等の掲載
9	2 29	役員会・部長会④ 代表者研修会③	全道研究大会準備(開催地区と連携)	全道研究大会準備(開催地区と連携)		
10	3 16 29	全道研究大会(釧路地区) 役員会・部長会⑤ 会員連絡会④	全道研究大会運営(開催地区と連携)	全道研究大会運営(開催地区と連携)	「DO!ネット」作成・送付	
11	7 13 20	全国協議会青森大会 全生総研広島大会 役員会・部長会⑥				
12	10 1	代表者研修会④ ★全道冬季研修会 札幌地区			「DO!ネット」作成・送付	
2	26	役員会・部長会⑦	各地区への報告			H Pへ全道総会の案内の掲載
3	4 18	会員連絡会⑥ 役員会・部長会⑧	業務経過報告作成 決算報告作成 全道総会の案内、役員名簿の作成依頼の送付※組織部と連携	活動報告作成 次年度の活動計画作成	活動報告作成 次年度の活動計画作成 役員名簿の送付依頼 ※事務局長と連携	活動報告作成 次年度の活動計画作成

会計部 活動計画

令和7年 5月 16日

1 活動方針

- (1) 会計業務を円滑に行う。
- (2) 年間を見通して、各部と連携しながら業務活動を行う。
- (3) 事務局各部の活動が円滑に進むよう会計の面から支援する。

2 業務内容

- (1) 予算案・決算書の作成
- (2) 出納業務の執行
- (3) 予算執行状況の随時に亘る報告
- (4) 各地区より分担金（地区加盟費）の徴収

3 年間業務計画

月	業務内容
5	全道総会 会計手続きの確認【役員会・事務局会議】
6	各地区へ分担金（地区加盟費）納入の依頼状の送付
7	全国協議会分担金の納入 地区加盟費納入状況の確認【全道代表者研修会】
8	
9	会計の執行状況の確認【役員会・部長会・事務局会議】 地区加盟費未納地区の納入方法の確認（未納地区事務局長への連絡）
10	地区加盟費領収手続き完了【全道代表者研修会】
11	会計の執行状況の確認【役員会・事務局会議】
12	会計の改善点検討
1	
2	会計の執行状況の確認【役員会】
3	会計部活動報告・活動計画作成 決算書・予算案の作成【事務局会議】 会計監査

4 改善計画

- (1) 令和7年度予算案に記載の通り、各地区の会員数により地区加盟費を減額する。
- (2) これまで備蓄会計（積立）が支出の多くを占めていた。今後の見通しとして以下のようにしていく。

令和10年度
の学会自由研究
発表派遣まで積
立を行い、以降は
備蓄会計を廃止
する。

		収入	支出	残高	
令和6年度	繰越			215,038	
	一般会計より	55,000		270,038	
	旅費補助(札幌)		50,000	220,038	新潟大会
令和7年度	繰越			220,038	
	一般会計より	10,000		230,038	
	旅費補助(旭川)		60,000	170,038	山形大会
令和8年度	繰越			170,038	
	一般会計より	10,000		180,038	
	旅費補助(釧路)		60,000	120,038	福島大会
令和9年度	繰越			120,038	
	一般会計より	10,000		130,038	
	旅費補助(南北海道)		70,000	60,038	佐賀大会
令和10年度	繰越			60,038	
	一般会計より	10,000		70,038	
	旅費補助(オホーツク予定)		70,000	38	愛知大会

研究部 活動計画

令和7年5月16日（土）

今後の生活・総合の在り方について、明確な方向性を示していくとともに、全道の力を集結し、北海道からの発信を積極的に進めていく。また、重点1、重点2とも新たな切り口で授業改善を行っていく。

1 活動方針

（1）全道大会（釧路大会）に向けて

昨年度の旭川大会の成果と課題を踏まえつつ、釧路らしさが発信できるようにしていく。オンライン併用の場合は、過去の運営を参考にして取り組んで行く予定。大会テーマ等は、今後釧路地区と確認していく。

（2）課題別分科会について

通常開催、オンラインの両面で進めていく。

- ① テーマについては、重点を踏まえつつ、釧路地区と相談して進めていく。
- ② 分科会の進め方については、釧路地区と要相談

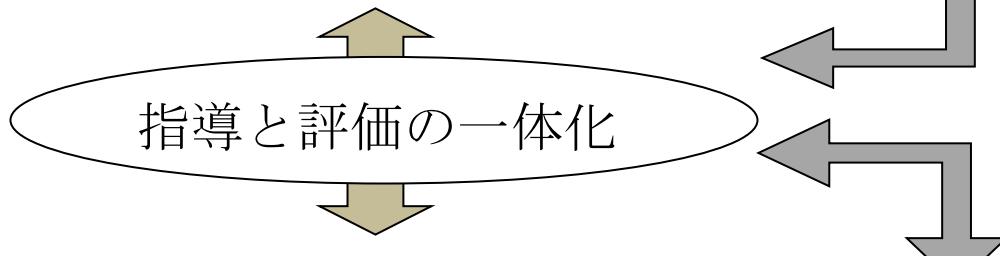
（3）重点について

重点① 子どもの資質・能力を高める深い学びの在り方

【資質・能力の面からの検証】

- ・生活科・総合的な学習の時間を軸に！
- ・他の教科・領域等と関連させる効果、可能性！
- ・主体的・対話的な学びをどのように位置付けるか！

- ・学習活動全体を俯瞰
- ・単元配列表を基に
- ・生活科、総合としての
- ・深い学びの検証



重点② 子どもの資質・能力を高める見取りや評価の在り方

【「教師のかかわり」「指導方法」の観点からの検証】

- ・育てたい力を明確に！
- ・学習の過程を一層重視！
- ・学び方や学びの姿を具体的に想定！

- ・子どもの育ちの
- ・到達点と通過点
- ・を想定した、評価計画
- ・の作成

(4) 全道夏期研修会について

日時：令和7年7月26日（土）対面＋オンラインによるハイブリット形式

場所：オホーツク・文化交流センター

2 1年間の動きについて

4	総会：今年度の活動の確認
5	
6	
7	夏季研修会→全道大会に向けた指導案検討、主管地区主催の研修を行う
8	
9	※各地区、研究推進、地区大会等
10	全道大会 1日目～授業公開、授業分科会 2日目～課題別分科会・講演会等
11	
12	
1	冬季研修会→各地区からの実践発表（オンライン）→要検討
2	
3	

北海道生活科・総合的な学習教育連盟

研究主題

自ら学びの世界を拡げ よりよい自分を創る子ども

子どもが育つ、
生活科・総合的な学習の時間を
提案・実践・検証し、
生活科・総合的な学習の時間で
育つ子どもの学びを明らかにする。

これまで、全道各地区の力を集結し、よりよい生活科・総合的な学習の時間の実践を全道、全国へ発信し、生活科や総合的な学習の時間で育つ子どもの姿を明確にしてきている。

今年度も、「生活科とは何か」「総合的な学習の時間で子どもにどんな力が育つのか」ということを見つめ直しながら、より説得力のある理論と実践の構築に努めていきたい。学習指導要領の理念は、我々生活科や総合的な学習の時間の実践者の目指す学びとも深く関わっている。これからを生きる子どもたちにとって必要不可欠な学びであることは揺るぎないところではある。「子どもにどのような資質・能力を育てるのか」を設定することの大切さや、「他の教科・領域の学びをどのように関連させるとよいのか」など、これまで培ってきた理論を基にしながら、子どもの具体的な学びの姿で全道・全国に実践提案し、生活科・総合的な学習の時間の学びの有用性を拡げていきたい。

私たち、北海道生活科・総合的な学習教育連盟は、生活科と総合的な学習の時間の実践研究に取り組んでいる、北海道の地区ごとの研究団体のネットワークである。様々な研究活動や情報交流を通して、双方向・協同・創造的な実践交流を行っている。

本連盟が更なる成長を遂げるためにも、各地区の連携を密にしていく必要がある。各地区における実践には、生活科や総合的な学習の時間の課題に真正面から向き合ったものや子どもの思考に寄り添ったものなど、優れた実践が数多くある。今年度も、全道の力を集結しながら生活科・総合的な学習の時間の理念を大事にしながら、提案・実践・検証を充実させていきたい。

主な活動

- 全道研究大会の開催
・公開授業・課題別分科会・講演会等
- 夏季研修会の開催
・研修会・講演会等
- 情報交流紙
『DO!ネット』の発行(年3回)
- 実践資料集
『DOKOYA』の発行(年1回)
- ホームページ
『北の大地・発』にて、各地区の取組の紹介

■はじめに

学ぶとは…

自分にとっての価値を見い出すこと

「学ぶ」とは、子どもの主体的な学びの姿を捉えて表す言葉である。子どもは、学ぶことが自分にとって価値のあることだと分かれば、自分ごととして本気になって学ぶことができる。そして、学ぶことを楽しいと感じ、学んだことを今後も使える力として生かしていくようになる。

国内外の学力調査などでは、子どもの学習への意欲の低さが示されている。しかし、子ども主体の学び、課題中心の学び、体験や活動を重視した学びを求め、展開している生活科や総合的な学習の時間においては、学ぶ意欲の低下は子どもの姿からは感じられない。このことは、子どもが学ぶことに価値を見い出しているからに他ならない。

学習指導要領で示されている「主体的・対話的で深い学び」に通じる学びは、これまで大事にしてきたところだが、これからも、子ども自身が自分にとっての様々な価値を見い出していくような主体的な学びを目指していきたい。

子ども自身が価値を感じ
自分ごととして学ぶ姿を目指す
学びの世界を拓げる子どもの姿

「学ぶ」ことから得られるものは、知識や技能のほかにも様々なと考えられる。

身近な生活・実社会やそれらと自分との関わりを通して学ぶ生活科や総合的な学習の時間においては「学ぶ」ということを広く捉え、その「学びの世界」の中で子どもの将来に渡って生かされる資質・能力を身に付けていくことを大事にしたい。

主体的な学びを通して「学ぶことの意味を捉える」といった学びに向かう姿勢を育むことと、先に述べた「自分との関わりで学ぶこと」などを関連させていくことで、自立や自己の生き方を考える大人へと成長するものと考えている。

学ぶことの意味を捉える

学ぶことへの姿勢

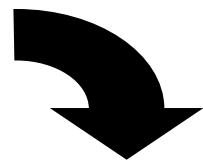
学び方を身に付ける



対象と自分との関わりで学ぶ
学び方やものの考え方を身に付ける
自己の生き方を考える

■研究主題について

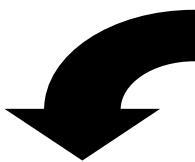
生活科や総合的な学習の時間の学びでは、
子どもが、自分の成長、よさや可能性
について自ら気付くことができる^{と考えている。}



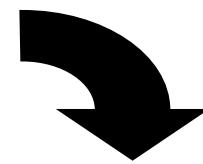
学びの世界を拡げるためには、

教師は、「学びの世界」が拡がっている
事実に気付かせていく

ことが大切になる。



学びの世界が拡がると、
子どもが、学びの世界の拡がりに
期待と可能性を感じるようになる。



だから、

学び続けること
は、
よりよい自分創りの営み

であると我々は考えているのである。

学ぶことに価値を見い出した子どもは、学習活動の条件の中で学ぶことはもちろん、学ぶ機会を自分で探したり創ったりするようになる。

自ら「学びの世界」を拡げながら、「自分はこうなった」「自分にできた」という自分の学びへの実感や、「こんな自分になりたい」「このように生きていきたい」という願いや期待をもち、さらに学び続けていくようになるのである。こうした「よりよい自分創り」は、生活科と総合的な学習の時間における学びの本質でもあり、こうした子ども像を、

自ら学びの世界を拡げ よりよい自分を創る子ども

とし、研究主題に迫る視点や手立てを「学習像」と「教師のかかわり」から考えていく。

■学び続ける子どもへ

先の学習指導要領に示されていた「生きる力」の基本的な考え方の一つに、「自ら学び自ら考える力の育成」が挙げられていた。いわゆる知識基盤社会においては、「課題を見い出し、解決する思考力・判断力・表現力等」が必要であり、その更新のために学び続けることが求められていくということである。このことは今後も変わらない。

また、学習指導要領にある「何のために学ぶのか」という学びの意義を子どもたちが考えることも必要であろう。我々がよりよく生きていくためには「共存・協力」が必要であり、そのためには、自己との対話を重ねながら「いかに生きるか」「いかに学ぶか」ということを考えつつ、他者や社会、自然や環境と「共に生きる」積極的な姿勢も求められている。こうした子どもを育てることが、生活科や総合的な学習の時間が担う役割であると受け止め、生活科や総合的な学習の時間で育つ子どもの姿を考えていく。

■研究主題に迫る「学習像」

研究主題で示した子ども像は、子ども自身が学習活動に価値を感じながら、自分ごととして本気で学び続けようとしている姿である。

昨年度の旭川大会では、「よりよい未来を創造する

子どもの育成」を研究主題に授業実践を発表した。また2日間で、授業および課題別分科会を開催することで、生活科、総合の理論を深堀することのできた大会であった。これまでの他地区が重ねてきた実践成果を生かし、生き生きと学ぶ子どもの姿を見ることができた。

昨年度は、対面での授業参観が通常となり、子どもと教師の関わりを見ながら間近で見ながら、授業検証をすることができた。この大会では、会場校が積み重ねてきた生活・総合の学びの姿に、生活・総合連盟の全道の仲間の力が加わって、大きな成果を出すことができた。その流れを、今度は釧路大会へと繋げていく。

旭川大会で、生活科においては、「身近な生活に関わる見方・考え方を生かす学習対象の吟味」「思いや願いを醸成・発展し、その実現に向かう単元構成の工夫」「気付きの質を高める指導の工夫」から研究を進めた。また、総合的な学習の時間では、「旭川らしい学びを創造する学習内容の吟味」「学習過程の質的改善」「授業改善の工夫」を切り口に研究を進めた。公開された3本の授業からは、子どもが、主体的に学習に向かう姿や教師が子どもに寄り添い、学びを醸成させようとする姿を見ることができた。特に、「旭川らしい生活科・総合」について発信することができたと考える。今度もその地域らしさや、北海道らしさを極めていきたい。

重点は3年目となる。これまで道連盟の研究主題の実現に向けた授業改善を行っていくことができた。学習指導要領の改訂を念頭に、時代が何を求めていくのか。今年度は時代の流れを踏まえ、からの子どもをどう育てていくのかを再考すると年としたい。また、生活、総合の学びを一層充実したものとするため、「生活、総合において授業を通した深い学びの検証」「見取りや評価の在り方について」考えていく。昨年度の成果と課題を生かしつつ、各地区の実践を更に積んでいきたい。

今年度の全道大会課題別分科会では、会場での声を基本とし考えていく。釧路地区の研究主題や副主題を踏まえ、道の重点である①生活科、総合としての深い学びの検証を資質・能力の具体と、②生活・総合見取りや評価の在り方を教師の支援について討論を深めていく。各地区から生活科2本、総合的な学習の時間2本の実践をベースに、授業実践を通して得られた成果と課題を主管地区より選出された司会者が運営を進めていく。ぜひ釧路に参考し顔を合わせて討議をしていきたいと考える。また、実践から見える北海道の生活・総合の題材の特徴についても整理していきたいと考えている。

最後に、調査官には、問題提起にこたえていたとともに、学習指導要領改訂に向けた展望について語ってほしいと考えている。これまで本連盟が大事にしてきた「学ぶ子どもの姿」を、これからも見つめ続け、子どもの資質・能力を育むための手立ての具体についても発信し、生活・総合の研究を一層充実させていくようにしていきたい。

■これからの生活科・総合的な学習の時間

■これからの生活科

体験を振り返る活動や伝え合う活動を通して、気付きの質を高める生活科

+ 気付きの質を高めることの更なる重視

(言葉と体験の充実、気付いたことを基に考える 等)

■これからの総合的な学習の時間

問題の解決や探究活動の過程を通して、物事の本質を探って見極めようとする総合

+ 探究の過程を一層重視する

(探究課題とその解決を通して学ぶ資質・能力の明確化 等)

本連盟では、生活科や総合的な学習の時間で目指す授業の姿を前ページ下段のように設定してきた。大事にしていきたい内容は大きく変わらないが、「重視」という言葉を強調していきたい。それは、生活科や総合的な学習の時間の学びが、「個別最適な学び」や「協働的な学び」からも読み取れるように、学習指導要領の大きな部分を占めていることがある。これからも一層、我々が目指す学びが重要となってくると考えた時、理論や実践の精度を高め、より一層生活科や総合的な学習の時間の重要性を発信していく必要があると考える。

生活科や総合的な学習の時間に初めて接する初任の教師や、実践をする機会があまりなかった教師などへ、子どもが自分の成長、よさや可能性について自ら気付くことを広く伝えるとともに、授業の在り方を子どもの姿で示していくために、「気付きの質を高めるプロセスで重要なことは何か」「探究の過程を通して深い学びに向かうためにはどんな手立てが必要か」など、より具体的に提案できるようにしていきたい。

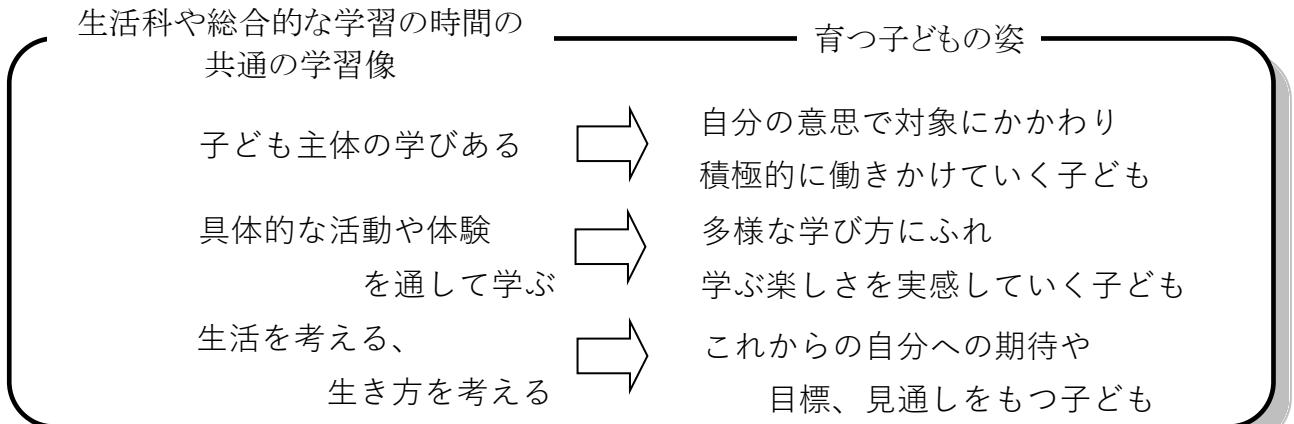
■研究主題に迫る「教師のかかわり」

授業場面における教師のかかわりについては、一人一人の「学びの世界」を評価情報として探し、指導に生かすことを引き続き大事にしていく。

子どもたちが自分の思いや願いをもって対象にかかわったり、課題をもって探究したりしていく中で、自分なりの見方や考え方をもったり、本質に迫ることで新たな価値を見い出す姿を教師がしっかりと受け止めたりする必要がある。子どもの内側にある思いや願いの引き出し方や子どもの思考の捉え方など、授業における教師のかかわりを具体的な手立てとして明らかにし、公開授業を通して広く発信していきたい。

更には「生活科や総合的な学習の時間では、こういう教師のかかわりをすればよいのだ」ということを発信し、多くの人に共感的に受けてもらえる工夫や努力をしていきたいと考えている。

生活科や総合的な学習の時間における学習像や子どもの姿には、共通性の高いものがある。以下に簡単にまとめているが、こうした「学習の理念」を忘れないことも大事になってくる。



また、「学習の理念」を大事にしながら「子どもが育つ」ということに着目し、次のことを大事にしていく。

■子どもが育つ、生活科

子どもの思い・願いと気付きの質の高まりのある生活科

■子どもが育つ、総合的な学習の時間

協働的な学びの中で、物事の本質を探り見極める総合的な学習の時間



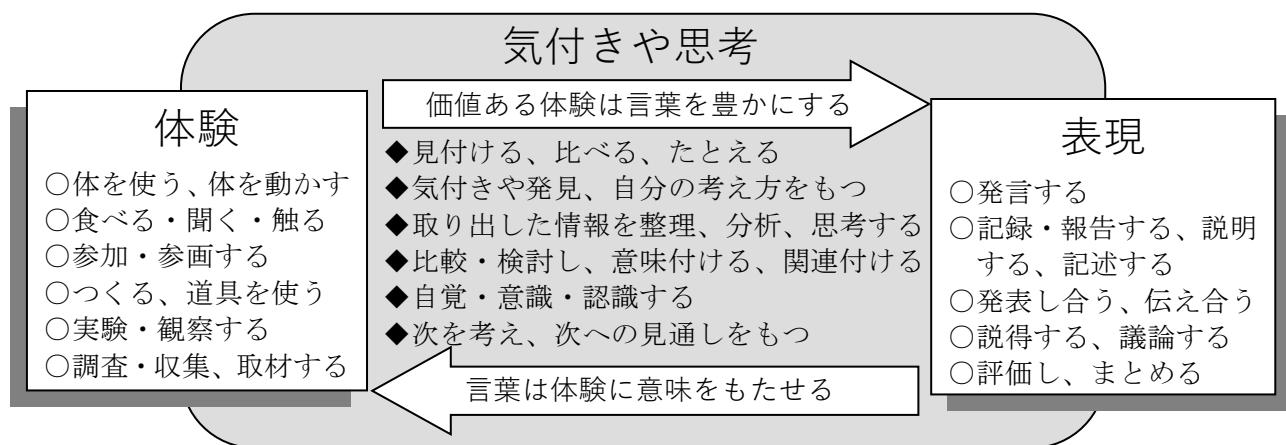
■生活科・総合的な学習の時間で育つ、子どもの学びを

資質・能力の面から捉えていく

「目指す子どもの姿」を、資質・能力を面から捉えることはこれまでと同様である。体験や活動を通して、教師は子どものどのような姿に「生活や総合の学びの価値」を見い出し、どのような姿から「資質・能力の高まり」を感じ、どのような「資質や能力」を育んでいこうとしているのかなど、「主体的・対話的で深い学び」の在り方を検証しつつ、教師の「見取り」や「評価」について明らかにしていく。

■ 価値ある体験と実感のある 気付きや思考のある学習

生活科や総合的な学習の時間では、遊びやものづくり、見学や調査、実験や観察などの活動や体験を振り返り、他者と伝え合う手段として表現（言語活動）を取り入れることが多くある。子どもにとって価値のある体験からは、「言いたい」「聞きたい」「書きたい」という意欲や必然性が生まれ、より具体的で実感のある表現につながる。そのためにも、体験したことを見つめ直し、多様に表現をする場を構成していくことが必要である。その際、子どもの表現（言葉や文章、作品など）によって体験が意味付けられる働きにも着目し、学習の意図に即した言語活動を取り入れていきたい。



■ 研究の重点の設定

まずは、「授業づくり」の観点から、資質・能力を高めるための授業の在り方を考える必要がある。生活科であれば「言葉と体験」「気付きの質の高まり」につながることであり、総合的な学習の時間であれば「探究課題」「探究課題の解決を通して学ぶ資質・能力」に関することであろう。

そこで、二つの重点を設定し、研究を進めていきたい。

重点① 子どもの資質・能力を高める深い学びの在り方

【資質・能力の面からの検証】

- ・生活科・総合的な学習の時間を軸に！
- ・他の教科・領域等と関連させる効果、可能性！
- ・主体的・対話的な学びをどのように位置付けるか！

- ・学習活動全体を俯瞰
- ・単元配列表を基に
- ・生活科、総合としての
- ・深い学びの検証

重点② 子どもの資質・能力を高める見取りや評価の在り方

【「教師のかかわり」「指導方法」の観点からの検証】

- ・育てたい力を明確に！
- ・学習の過程を一層重視！
- ・学び方や学びの姿を具体的に想定！

- ・子どもの育ちの
- ・到達点と通過点
- ・を想定した評価計画
- ・の作成

今後、主管地区の考えも尊重しながら、合わせて研究の重点の検証を精力的に進めていく。

一般会計予算(案)

《収入の部》

費目	令和6年度予算額	令和7年度予算額	増減	備考
前年度繰越金	41,656	40,347	(1,309)	
(内訳)	地区加盟費	183,000	133,000	(50,000)
	札幌地区	48,000	40,000	(8,000)
	旭川地区	27,000	20,000	(7,000)
	釧路地区	27,000	20,000	(7,000)
	南北海道地区	27,000	20,000	(7,000)
	留萌地区	12,000	5,000	(7,000)
	オホーツク地区	18,000	15,000	(3,000)
	上川地区	12,000	8,000	(4,000)
	後志地区	12,000	5,000	(7,000)
その他	0	5	5	預金利息
合計	224,656	173,352	(51,304)	

《支出の部》

費目	令和6年度予算額	令和7年度予算額	増減	備考
研究活動費	40,000	50,000	10,000	全道大会・全道夏季研の補助
(内訳)	研究交流費	115,000	70,000	(45,000)
	全国協議会 分担金	10,000	10,000	0
	全国理事会 旅費	50,000	50,000	0
	備蓄費	55,000	10,000	(45,000)
(内訳)	通信連絡費	5,000	20,000	15,000
	ホームページ料金	2,970	6,000	3,030
	ZOOM契約料		12,000	12,000
	その他(郵送・通信)	2,030	2,000	(30)
会議費・事務費	10,000	8,000	(2,000)	会場費・事務用品他
予備費	54,656	25,352	(29,304)	北海道通信年賀広告費
合計	224,656	173,352		

令和7年度 道連盟年間予定 令和7年5月16日 現在

日曜	4月		日曜	5月		日曜	6月		日曜	7月		日曜	8月		日曜	9月	
1 火			1 木			1 日			1 火	全道代表者研修会②(17:30オンライン)全道大会・全道夏季研修会について		1 金			1 月		
2 水			2 金			2 月			2 水			2 土	第14回侃々諤々【幼保小連携】(10:00-12:00オンライン仮)		2 火	役員会部長会④(17:15オンライン)市大会・全道大会最終確認	
3 木			3 土	憲法記念日		3 火			3 木			3 日			3 水		
4 金	臨時役員会(17:15オンライン)		4 日	みどりの日		4 水			4 金			4 月			4 木		
5 土			5 月	こどもの日		5 木	役員会部長会②(17:15オンライン)市大会・全道夏季研修会について		5 土			5 火			5 金	第7回join us!【会場未定】(18:30-19:30)	
6 日			6 火	振替休日		6 金			6 日			6 水			6 土		
7 月			7 水			7 土	第13回侃々諤々【思考ツール】(10:00-12:00オンライン仮)		7 月			7 木			7 日		
8 火	始業式・入学式		8 木			8 日			8 火			8 金			8 月	札幌市大会(このあたりはどうでしょうか?)	
9 水			9 金			9 月			9 水			9 土			9 火		
10 木			10 土			10 火	札教研春の全市集会		10 木	役員会部長会③(17:15オンライン)		10 日			10 水		
11 金			11 日			11 水			11 金			11 月	山の日		11 木		
12 土			12 月			12 木			12 土	生活科・総合の未来を語る学習②(10:00-16:00当別町公民館オンライン)		12 火			12 金		
13 日			13 火	全道代表者研修会①(17:30オンライン)総会について		13 金			13 日			13 水			13 土		
14 月			14 水			14 土			14 月			14 木			14 日	生活科・総合の未来を語る学習③(10:00-16:00当別町公民館オンライン)	
15 火			15 木			15 日			15 火			15 金			15 月	敬老の日	
16 水			16 金	全道総会(17:30オンライン)		16 月			16 水			16 土			16 火		
17 木			17 土			17 火			17 木			17 日			17 水	札幌市大会(仮)【総合・円山小】	
18 金			18 日			18 水	会員連絡会②(17:15オンライン)全道夏季研修会について		18 金			18 月			18 木		
19 土	市連盟総会(14:20教育大サテライト)		19 月	役員会部長会①(17:15オンライン)		19 木			19 土			19 火			19 金		
20 日			20 火			20 金	第6回join us!【会場未定】(18:30-19:30)		20 日			20 水			20 土		
21 月			21 水			21 土			21 月	海の日		21 木			21 日		
22 火			22 木			22 日			22 火			22 金			22 月		
23 水			23 金			23 月			23 水			23 土			23 火	秋分の日	
24 木			24 土			24 火			24 木			24 日			24 水		
25 金			25 日			25 水			25 金	1学期終業式		25 月	2学期始業式		25 木		
26 土	生活科・総合の未来を語る学習①(10:00-16:00当別町公民館オンライン)		26 月	会員連絡会①(17:15オンライン)		26 木			26 土	夏季休業日(～8月24日) 全道夏季研修会(オホーツク文化交流センター)		26 火	会員連絡会③(17:15オンライン) 市大会について		26 金		
27 日			27 火			27 金			27 日			27 水			27 土		
28 月			28 水			28 土	学会山形大会		28 月			28 木			28 日		
29 火	昭和の日		29 木			29 日	学会山形大会		29 火			29 金			29 月	全道代表者研修会③(17:30オンライン) 全道大会について最終確認	
30 水			30 金			30 月			30 水			30 土			30 火	前期終了 前期通知表配付	
			31 土						31 木			31 日					

日	曜	10月		日	曜	11月		日	曜	12月		日	曜	1月		日	曜	2月		日	曜	3月	
1	水			1	土	開校記念日		1	月			1	木	元日		1	日			1	日		
2	木			2	日	振替休業日		2	火			2	金			2	月			2	月		
3	金	全道研究大会（釧路地区：附属小・厚岸町真龍小釧路町別保小）		3	月	文化の日		3	水			3	土			3	火			3	火		
4	土	全道研究大会（釧路市生涯センター）		4	火			4	木			4	日			4	水			4	水	会員連絡会⑥（17：15オンライン） 今年度反省と次年度について	
5	日			5	水			5	金			5	月			5	木			5	木		
6	月			6	木			6	土			6	火			6	金	第8回join us！【会場未定】（18：30-19：30）		6	金		
7	火			7	金	研究協議会青森大会		7	日			7	水			7	土			7	土	第16回侃々諤々【デジタル学習基盤】 (10：00-12：00オンライン仮)	
8	水			8	土			8	月			8	木			8	日			8	日		
9	木			9	日			9	火			9	金			9	月			9	月		
10	金			10	月			10	水	全道代表者研修会④（17：30オンライン）冬季研修会について最終確認		10	土			10	火			10	火		
11	土			11	火			11	木			11	日			11	水	建国記念の日		11	水		
12	日			12	水			12	金			12	月	成人の日		12	木			12	木		
13	月	スポーツの日		13	木	全生総研 全国大会広島大会		13	土			13	火			13	金			13	金		
14	火			14	金	全生総研 全国大会広島大会		14	日			14	水			14	土	生活科・総合の未来を語る学習④（10：00-16：00当別町公民館 オンライン）		14	土		
15	水			15	土			15	月			15	木	3学期始業式		15	日			15	日		
16	木	役員会部長会⑤（17：15オンライン）市大会・全道大会反省		16	日			16	火			16	金			16	月			16	月		
17	金			17	月			17	水			17	土	冬季研修会（10：00-12：00オンライン）		17	火			17	火		
18	土			18	火			18	木			18	日			18	水			18	水	役員会部長会⑥（17：15オンライン）新年度総会について	
19	日			19	水			19	金			19	月			19	木			19	木		
20	月			20	木	役員会部長会⑥（17：15オンライン）冬季研修会について		20	土			20	火			20	金			20	金	春分の日	
21	火	札教研秋の全市集会		21	金			21	日			21	水			21	土			21	土		
22	水	会員連絡会④（17：15オンライン）市大会・全道大会反省		22	土	第15回侃々諤々【次期学習指導要領】 (10：00-12：00オンライン仮)		22	月			22	木			22	日			22	日		
23	木			23	日	勤労感謝の日		23	火			23	金			23	月	天皇誕生日		23	月	卒業証書授与式	
24	金			24	月	振替休日		24	水			24	土			24	火			24	火		
25	土			25	火			25	木	2学期終業式		25	日			25	水			25	水	修了式・離任式	
26	日			26	水	会員連絡会⑤（17：15オンライン）冬季研修会について		26	金	冬季休業日（～1月14日）		26	月			26	木	役員会部長会⑦（17：15オンライン）今年度反省と次年度について		26	木	春季休業日（～4月7日）	
27	月			27	木			27	土			27	火			27	金			27	金		
28	火			28	金			28	日			28	水			28	土			28	土		
29	水	札幌市大会（仮）【生活・西小】		29	土			29	月			29	木			29	日			29	日		
30	木			30	日			30	火			30	金							30	月		
31	金							31	水			31	土							31	火		

北海道生活科・総合的な学習教育連盟の歩み【令和元年～現在】

2019年（令和元年度）

31. 4. 27 平成31年度北海道生活科・総合的な学習教育連盟総会～札幌サンプラザ
顧問：志田 恭司・山崎 好男・荒岡 勇次・中瀬 裕義・五十嵐 雅彦・西岡 昭夫
作原 逸郎・佐々木 征治・山田 真己・高橋 透・三好 哲司・大室 道夫
磯島 年成
委員長：吉田 信興
副委員長：加藤 秀樹（道）齊藤 隆浩（札幌）玉井 一行（旭川）石塚 純三（釧路）
小山 みゆき（函館）西條 直志（留萌）畠山 治夫（オホーツク）
池田 克己（渡島）山崎 省三（上川）齊藤 信之（後志）
監査：大場 隆幸（札幌）理事：中田原 雅広・西出 勉（札幌）
事務局長：熊谷 雅史（札幌）次長（兼）事業プロジェクト：丹羽 洋彦（札幌）
研究部：〈部長〉小山 恒（札幌）
〈副部長〉蝦名 悠太（札幌）元島 由香利（旭川）五十嵐 寛幸（釧路）
鎌田 尚吾（函館）西山 洋平（留萌）中尾 隼人（オホーツク）
菅原 俊介（渡島）林 琢磨（上川）西岡 健幸（後志）
総務部：〈部長〉吉田 一之（札幌）〈副部長〉小川 みどり（札幌）
組織部：〈部長〉照井 史絵（札幌）〈副部長〉向井 ひとみ（札幌）
研修部：〈部長〉武田 香織（札幌）〈副部長〉安部 央恵（札幌）
情報部：〈部長〉高屋 智章（札幌）
〈副部長〉田中 元子（札幌）山下 曜（旭川）松田 和也（釧路）
市川 友香（函館）宮内 盛一（オホーツク）菅原 俊介（渡島）
柞山 孝則（上川）田中 宏治（後志）
会計部：事務局次長兼務

01. 7. 28～29 第28回北海道生活科・総合的な学習教育連盟宿泊研修会
～東川町立東川小学校・東神楽森林公園「森のゆ花神楽」
講師：渋谷 一典 氏（文部科学省 教科調査官）

01. 10. 18 第29回北海道生活科・総合的な学習教育研究大会〔旭川大会〕
旭川大会主題「『骨太な子供』を育成する学習づくり」（旭川市立向陵小学校）
講演会 講師：渋谷 一典 氏（文部科学省 教科調査官）

01. 11. 14 第28回全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会（秋田大会）
～15 課題別分科会 総合テーマ『学校・地域が変わる総合』
提言者 松永 久美（札幌 定山渓小）司会者 西澤 信子（札幌 伏古小）
助言者 加藤 秀樹（札幌 澄川南小）

2020年（令和2年度）

02. 04. 27 令和2年度 北海道生活科・総合的な学習教育連盟総会
～書面交流による開催～

顧問：志田 恭司・山崎 好男・荒岡 勇次・中瀬 裕義・五十嵐 雅彦・西岡 昭夫
作原 逸郎・佐々木 征治・山田 真己・高橋 透・三好 哲司・大室 道夫
磯島 年成
委員長：吉田 信興
副委員長：加藤 秀樹（道）渡部 靖（札幌）玉井 一行（旭川）石塚 純三（釧路）
盛 健（函館）西條 直志（留萌）畠山 治夫（オホーツク）池田 克己（渡島）
山崎 省三（上川）齊藤 信之（後志）
監査：大場 隆幸（札幌）理事：中田原 雅広・西出 勉（札幌）
事務局長：熊谷 雅史（札幌）次長（兼）事業プロジェクト：丹羽 洋彦（札幌）
研究部：〈部長〉小山 恒（札幌）

〈副部長〉 蝦名 悠太（札幌） 小原 広士（旭川） 五十嵐 寛幸（釧路）
 鎌田 尚吾（函館） 西山 洋平（留萌） 中尾 隼人（オホーツク）
 菅原 俊介（渡島） 林 琢磨（上川） 西岡 健幸（後志）
 総務部 : 〈部長〉 吉田 一之（札幌） 〈副部長〉 小川 みどり（札幌）
 組織部 : 〈部長〉 照井 史絵（札幌） 〈副部長〉 高橋 孝一郎（札幌）
 研修部 : 〈部長〉 武田 香織（札幌） 〈副部長〉 安部 央恵（札幌）
 情報部 : 〈部長〉 高屋 智章（札幌）
 〈副部長〉 田中 元子（札幌） 山下 曜（旭川） 松田 和也（釧路）
 笹森 将志（函館） 福田 昇平（オホーツク） 桧山 孝則（上川）
 池田 健二（後志）

- 02.06.03 情報交流誌D.O!ネット : No.60 発刊
 全道宿泊研修会・札幌地区【創立30周年】・全道研究大会中止の決定と承認
- 02.11.14 日本生活科・総合的教育学会 第29回全国大会山梨大会（オンライン開催）
 大会テーマ『つながりある学びを育む 未来を拓く子ども』
- 02.11.13 第29回全国生活科・総合的な学習教育協議会千葉大会（オンライン開催）
 研究主題『はばたけ！未来を創る子どもたち
 ～探究を見つめ直し 探究を創造する～』
 課題別分科会（生活・評価）提言者：大嶋 悠基（札幌 円山小）
 司会者：中嶋 孝幸（附属札幌小）助言指導者：大宮 健一（札幌 大谷地小）
- 02.12.18 第1回 全道オンライン交流会
- 03.03.05 第2回 全道オンライン交流会

2021年（令和3年度）

- 03.04.27 令和2年度 北海道生活科・総合的な学習教育連盟総会
 ～書面交流による開催～

顧問 : 志田 恭司・山崎 好男・荒岡 勇次・中瀬 裕義・五十嵐 雅彦・西岡 昭夫
 作原 逸郎・佐々木 征治・山田 真己・高橋 透・三好 哲司・大室 道夫
 磯島 年成・吉田 信興

委員長 : 熊谷 雅史

副委員長 : 加藤 秀樹（道）渋谷 一典（札幌）玉井 一行（旭川）石塚 純三（釧路）
 盛 健（函館）西條 直志（留萌）畠山 治夫（オホーツク）池田 克己（渡島）
 山崎 省三（上川） 齋藤 信之（後志）

監査 : 大場 隆幸（札幌） 理事 : 中田原 雅広・西出 勉（札幌）

事務局長 : 丹羽 洋彦（札幌）

研究部 : 〈部長〉 小山 恒（札幌）
 〈副部長〉 蝦名 悠太（札幌） 小原 広士（旭川） 五十嵐 寛幸（釧路）
 鎌田 尚吾（函館） 西山 洋平（留萌） 中尾 隼人（オホーツク）
 菅原 俊介（渡島） 林 琢磨（上川） 西岡 健幸（後志）

総務部 : 〈部長〉 吉田 一之（札幌） 〈副部長〉 小川 みどり（札幌）
 組織部 : 〈部長〉 照井 史絵（札幌） 〈副部長〉 高橋 孝一郎（札幌）
 研修部 : 〈部長〉 武田 香織（札幌） 〈副部長〉 安部 央恵（札幌）
 情報部 : 〈部長〉 高屋 智章（札幌）
 〈副部長〉 田中 元子（札幌） 山下 曜（旭川） 松田 和也（釧路）
 笹森 将志（函館） 福田 昇平（オホーツク） 桧山 孝則（上川）
 池田 健二（後志）

- 03.06.03 情報交流誌D.O!ネット : No.61 発刊

- 03.06.19 日本生活科・総合的教育学会 第30回全国大会静岡大会（オンライン開催）
 ～20 大会テーマ『持続可能な社会の創り手を育む生活・総合』

03.10.01 第30回北海道生活科・総合的な学習教育研究大会〔函館大会〕オンライン開催
函館大会主題「自ら判断、決定し、学びを創り続ける子ども」(函館市立弥生小学校)
講演会 講師：齊藤 博伸 氏 (文部科学省 教科調査官)

情報交流誌DO!ネット：No.6 2 発刊

03.11.04 第30回全国生活科・総合的な学習教育協議会 大阪大会 (オンライン開催)
～05 研究主題『～人・地域から学ぶ 未知の時代を生き抜く力～
学びをつなぎ 価値を見出し 確かな力を育成する』
課題別分科会 (総合・カリマネ) 提言者：村井 悠介 (札幌市立北九条小学校)
司会者：丹羽 洋彦 (札幌 新琴似緑小) 助言者：熊谷 雅史 (札幌 中沼小)

04.02.28 情報交流誌DO!ネット：No.6 3 発刊

2022年(令和4年度)

03.04.27 令和4年度 北海道生活科・総合的な学習教育連盟総会
～ホテルライフオート札幌・オンライン開催～

顧問：志田 恭司・山崎 好男・荒岡 勇次・中瀬 裕義・五十嵐 雅彦・西岡 昭夫
作原 逸郎・佐々木 征治・山田 真己・高橋 透・三好 哲司・大室 道夫
磯島 年成・吉田 信興
委員長：熊谷 雅史
副委員長：加藤 秀樹 (道) 渋谷 一典 (札幌) 玉井 一行 (旭川) 石塚 純三 (釧路)
盛 健 (函館) 西條 直志 (留萌) 畠山 治夫 (オホーツク) 池田 克己 (渡島)
山崎 省三 (上川) 齊藤 信之 (後志)
監査：大場 隆幸 (札幌) 理事：中田原 雅広・西出 勉 (札幌)
事務局長：丹羽 洋彦 (札幌)
研究部：〈部長〉 小山 恒 (札幌)
〈副部長〉 蝦名 悠太 (札幌) 小原 広士 (旭川) 五十嵐 寛幸 (釧路)
鎌田 尚吾 (函館) 西山 洋平 (留萌) 中尾 隼人 (オホーツク)
菅原 俊介 (渡島) 林 琢磨 (上川) 西岡 健幸 (後志)
総務部：〈部長〉 吉田 一之 (札幌) 〈副部長〉 小川 みどり (札幌)
組織部：〈部長〉 照井 史絵 (札幌) 〈副部長〉 高橋 孝一郎 (札幌)
研修部：〈部長〉 武田 香織 (札幌) 〈副部長〉 安部 央恵 (札幌)
情報部：〈部長〉 高屋 智章 (札幌)
〈副部長〉 田中 元子 (札幌) 山下 曜 (旭川) 松田 和也 (釧路)
笛森 将志 (函館) 福田 昇平 (オホーツク) 桧山 孝則 (上川)
池田 健二 (後志)

04.07.23 情報交流誌DO!ネット：No.6 4 発刊

04.06.25 日本生活科・総合的教育学会 第31回全国大会広島・三原大会
～26 (オンライン開催)
大会テーマ『世界の過去・現在から、子どもたちの未来を探究する』
自由研究発表：鳴田 陽介

04.11.04 第31回北海道生活科・総合的な学習教育研究大会〔オホーツク・北見大会〕
北見大会主題「自分初・自分行～学びを自分事と捉え、(オンライン開催)
本気で学び続ける子ども」(北見市立南小学校)
講演会 講師：齊藤 博伸 氏 (文部科学省 教科調査官)

04.11.01 情報交流誌DO!ネット：No.6 5 発刊

04. 11. 10 第31回全国生活科・総合的な学習教育協議会東京大会
 ~11 (オンライン対面開催)
 研究主題『新たな価値の創造～深い学びの実現を目指して～』
 課題別分科会（生活・評価）提言者：北村 公則（札幌市立西小学校）
 司会者：蝦名 悠太（札幌 太平小）助言指導者：渡部 靖（札幌 藤野南小）
05. 03. 28 情報交流誌DO!ネット：No.6 6発刊
- 2023年（令和5年度）**
03. 04. 27 令和2年度 北海道生活科・総合的な学習教育連盟総会
 ~ホテルライフオート札幌・オンライン開催~
- 顧問：志田 恭司・山崎 好男・荒岡 勇次・中瀬 裕義・五十嵐 雅彦・西岡 昭夫
 作原 逸郎・佐々木 征治・山田 真己・高橋 透・三好 哲司・大室 道夫
 磯島 年成・吉田 信興
- 委員長：熊谷 雅史
- 副委員長：加藤 秀樹（渋谷 一典（道）森田 智也（札幌）澤田 匡史（旭川）
 石塚 純三（釧路）畠中 雅昭（函館）西條 直志（留萌）
 畠山 治夫（才ホーツク）池田 克己（渡島）豊田 央（上川）
 山下 秀一（後志）
- 監査：川見 明子（札幌） 理事：永根 祥一・笹山 雅司（札幌）
- 事務局長：丹羽 洋彦（札幌）次長：渡辺 一生（札幌）
- 研究部：〈部長〉小山 恒（札幌）
 〈副部長〉中嶋 孝幸（札幌）小原 広士（旭川）水上 翔（釧路）
 藤本 歩（函館）西山 洋平（留萌）中尾 隼人（才ホーツク）
 菅原 俊介（渡島）妹尾 祐貴（上川）土岐 龍大（後志）
- 組織部：〈部長〉照井 史絵（札幌） 〈副部長〉高橋 孝一郎（札幌）
- 研修部：〈部長〉北村 公則（札幌） 〈副部長〉安部 央恵（札幌）
- 情報部：〈部長〉山下 悠太（札幌）
 〈副部長〉田中 元子（札幌）山下 曜（旭川）松田 和也（釧路）
 笹森 将志（函館）福田 昇平（才ホーツク）柞山 孝則（上川）
 池田 健二（後志）
05. 06. 03 情報交流誌DO!ネット：No.6 7発刊
 総会意見集約結果・各地区活動報告・活動計画掲載
05. 07. 29 全道夏季研修会（ホテルライフオート札幌 参集・オンライン開催）
 後志地区実践発表 全道研究大会札幌大会指導案検討
 講演会 講師：齊藤 博伸 氏（文部科学省 教科調査官）
05. 10. 06 北海道生活科・総合的な学習教育研究大会 札幌大会（札幌市立円山小学校）
 授業公開・開会行事
 ~07 シンポジウム・講演会・閉会行事（ホテルライフオート札幌）
 講師：齊藤 博伸 氏（文部科学省 教科調査官）
05. 10. 02 情報交流誌DO!ネット：No.6 8発刊 全道大会成果号
05. 06. 17 日本生活科・総合的教育学会 第32回全国大会神奈川大会
 ~18 大会テーマ『はやぶさ生誕の地からつながり合う学びの創造
 ~問い合わせをもち協働的に探究する子ども～』
 自由研究発表：西川 祐平
05. 11. 09 第32回全国生活科・総合的な学習教育協議会京都大会
 ~10 研究主題『学びで織りなす 色とりどりの夢』
 課題別分科会（生活・評価）提言者：大嶋 悠基（札幌 円山小）

司会者：小山 恒（札幌 川北小）助言指導者：能登 貴章（札幌 幌北小）

06.02.29 情報交流誌DO！ネット：No.6 9発刊

2024年（令和6年度）

06.05.17 令和6年度 北海道生活科・総合的な学習教育連盟総会
～教育大サテライト・オンライン開催～

顧問：志田 恒司・山崎 好男・荒岡 勇次・中瀬 裕義・五十嵐 雅彦・西岡 昭夫
作原 逸郎・佐々木 征治・山田 真己・高橋 透・三好 哲司・大室 道夫
磯島 年成・吉田 信興・渡部 靖・熊谷 雅史
委員長：加藤 秀樹
副委員長：（道）渋谷 一典 大宮 健一（札幌）澤田 匡史（旭川）照井 貴幸（釧路）
浦上 修一（函館）西條 直志（留萌）大西 篤（オホーツク）岸 美香（上川）
山下 秀一（後志）
監査：川見 明子（札幌） 理事：永根 祥一・笹山 雅司（札幌）
事務局長：丹羽 洋彦（札幌） 次長：渡辺 一生（札幌）
研究部：（部長）小山 恒（札幌）
（副部長）中嶋 孝幸（札幌）小原 広士（旭川）五十嵐 寛幸（釧路）
鎌田 尚吾（函館）西山 洋平（留萌）中尾 隼人（オホーツク）
菅原 俊介（渡島）林 琢磨（上川）西岡 健幸（後志）
組織部：（部長）照井 史絵（札幌）（副部長）渡辺 良太（札幌）
情報部：（部長）山下 佑太（札幌）
（副部長）武田 香織（札幌）山下 曜（旭川）松田 和也（釧路）
有賀 綾（函館）西山 洋平（留萌）宮内 盛一（オホーツク）
齋藤 一樹（上川）池田 健二（後志）

06.06.03 情報交流誌DO！ネット：No.7 0発刊

06.06.22 日本生活科・総合的教育学会 第33回全国大会新潟大会
大会テーマ『1人1人が響き合い、学び共に創り出す「くらし・社会・未来』
自由研究発表：札幌地区 川俣 奈央

06.07.27 第32回全道夏季研修会（士別市民センター・オンライン開催）
上川地区実践発表 全道研究大会旭川大会指導案検討
講師：齊藤 博伸 氏（文部科学省 教科調査官）

06.10.03 情報交流誌DO！ネット：No.7 1発刊

06.10.11 第33回北海道生活科・総合的な学習教育研究大会〔旭川大会〕
～12 旭川大会主題「よりよい未来を創造する子どもの育成」（旭川市立高台小学校）
講師：齊藤 博伸 氏（文部科学省 教科調査官）

06.11.15 第33回全国生活科・総合的な学習教育協議会 岩手・盛岡大会
大会主題『いかす』『わかる』をてんかいする～未来をつむぐ人づくりを目指す
生活科・総合的な学習の時間の授業～
課題別分科会（生活・評価）提言者：福井 貴大（札幌 米里小）
司会：田中 美紀（札幌 札苗北小）助言：川見 明子（札幌 西岡北小）

07.02.23 全道冬季研修会（オンライン開催）全道大会事後報告 地区実践発表
後志地区：細川 あゆみ 函館地区；遠藤 哲史 留萌地区：栗本 将史

07.03.02 情報交流誌DO！ネット：No.7 2発刊

北海道生活科・総合的な学習教育連盟規約

第1章 総則

第1条 この連盟は、北海道生活科・総合的な学習教育連盟と称する。また、日本生活科・総合的な学習教育学会北海道支部（以下、学会）を兼ねる。

第2条 この連盟は、北海道における生活科・総合的な学習教育の向上を図ることを目的とする。

第3条 この連盟は、次の事業を行う。

- 1) 研究会・研修会の開催
- 2) 教育用図書及び参考書の研究
- 3) 広報誌・研究紀要等の発行
- 4) 生活科教育・総合的な学習に関する調査研究
- 5) 各地区組織の強化・連携
- 6) 学会にかかる業務
- 7) その他必要な事業

第2章 会員

第4条 北海道の生活科教育及び総合的な学習に关心をもち、この連盟の趣旨に賛同する者とする。学会会員への登録については任意とする。

第3章 組織及び役員

第5条 この連盟は、北海道内の各地区の加入団体で組織する。ただし、未組織の地区からは、個人加入することができる。

第6条 この連盟は、次の役員を置き、任期は1年間とし総会で選出する。

- 1) 委員長 1名
本連盟を代表する。
また、学会北海道支部の支部長及び地域世話人を兼ねる。
- 2) 副委員長 若干名
委員長を補佐する。
- 3) 会計監査 若干名
会計を監査する。

第7条 この連盟には、総会の承認を得て顧問及び理事を置くことができる。

第8条 各地区の加入団体は、地区代表1名を置く。

第9条 この連盟は、札幌市に事務局を置き、局長・次長及び局員を委員長が委嘱する。

第4章 総会

第10条 総会は、役員及び地区代表・会員で構成し、年1回委員長が招集し、次のことを審議し決定する。

- 1) 事業・決算報告
- 2) 役員改選
- 3) 事業計画
- 4) 予算審議
- 5) その他

委員長は役員の同意の下、必要と認めた場合、書面による総会を開催することができる。この場合、議案に対する賛否を記載できる意見書により行う。ただし、必要に応じて臨時総会を開く。

第5章 会計

第11条 この連盟の運営は、加盟費、事業収入、寄付金による。

4月1日～3月31日までを事業年度とする。

会計は事務局次長の勤務校に置く。

第6章 付則

第12条 この規約は、平成27年4月25日から施行する。

[平成02年11月24日制定]

[平成05年05月01日一部改定]

[平成11年05月08日一部改定]

[平成12年05月13日一部改定]

[平成27年04月25日一部改定]

[令和02年一部改定]

第13条 この規約は、総会決議によらなければ改廃することはできない。

北海道生活科・総合的な学習教育連盟

日本生活科・総合的な学習教育学会北海道支部の事業（覚書）

1 学会の会員登録について

- (1) 会員登録については、原則として任意（連盟規約第4条）であるが、各地区より複数名の会員登録を努力することとする。
- (2) 会員登録は個人登録の手続きを基本とし、入会・継続・だった及び回避の納入については個人の責任で行うこととする。
- (3) 登録及び会費納入等の手続きは、年度末までに終えることとする。
- (4) 各地区代表及び事務局長は地区の登録会員について把握し、地区事務局長は本連盟事務局長に報告することとする。

2 支部組織について

- (1) 学会役員・理事として選出された本連盟の会員については、学会と本連盟をつなぐ役割を担っていただく。
- (2) 連盟理事に学会担当理事を置くことができる。
- (3) 本連盟委員長が支部長及び地域世話人を兼ねる（連盟規約第6条）が、本連盟事務局長が支部事務局長として業務を補佐する。さらに、本連盟事務局が支部事務局として関係業務を分担する。
- (4) 各地区代表及び地区事務局長は、支部の地区代表及び地区事務局長として関係業務を行う。

3 本連盟と学会北海道支部との連携について

- (1) 北海道の「生活科」「総合的な学習の時間」の実践の充実と発展を願う共通の理念のもと、連盟会員と学会会員の相互理解と連携を大事にする。
- (2) 本連盟の実践を全国に発信する機会として、学会全国大会等への参加や学会刊行物への寄稿を積極的に展開していく。
- (3) 学会全国大会には、本連盟より自由研究発表者を派遣する。発表者については、前年度の全道研究大会の主管地区より選出することを基本とする。

- (4) 学会の研究実践を本連盟に還元する場として、本連盟の取組において報告や資料提供等を行う。
- (5) このような連携を意図した場合、全道研究大会や全道夏季研修会等において、主管地区の意向を尊重したうえで、「兼日本生活科・総合的な学習教育学会北海道支部」の名称を用いることができるようとする。

4 本連盟の学会北海道支部への予算支出について

- (1) 本連盟の実践を全国に発信するとともに、学会の研究実践を本連盟に還元するという相互関係に鑑み、本連盟の予算より学会北海道支部に研究交流費を支出する。また、そのための備蓄会計を行う。
- (2) 研究交流費については、主として学会全国大会における自由研究発表者への旅費補助に充てることとする。研究交流費の予算・決算については、連盟総会で承認を得ることとする。

5 令和11年度の学会全国大会（北海道大会）に向けて

- (1) 平成30年度の学会全国大会（以下、北海道大会）の成果を受け、令和11年度についても、平成10年度・20年度に開催した全国協議会主催の全国大会同様に、本連盟の全道研究大会として組織的に取り組む。
- (2) 北海道大会として、本連盟の全地区が連携して取り組むよう、事業を展開していく。
- (3) 今後の進捗状況に応じて、北海道大会の実行委員会を立ち上げ、関連業務を行うこととする。

【平成31年4月27日 5の項を削除】

【令和3年4月 5の項を加える】

歴代委員長		志田 恒司 山崎 好男 荒岡 勇次 中瀬 裕義 五十嵐 雅彦 西岡 昭夫 作原 逸郎 佐々木 征治 山田 真己 高橋 透 三好 哲司 大室 道夫 磯島 年成 吉田 信興 熊谷 雅史
【役員】		
委員長	加藤 秀樹	札幌市立豊平小 校長
副委員長	渋谷 一典	北海道教育大学教職大学院 教授
	大宮 健一	札幌市立幌南小 校長
	能登 貴章	札幌市立幌北小 校長
	野上 大輔	旭川市立神居小 校長
	照井 貴幸	釧路市立朝陽小 校長
	宮森 仁之	函館市立桔梗小 校長
	西條 直志	留萌市立緑丘小 校長
	大西 篤	大空町立東藻琴小 校長
	岸 美香	美瑛町立美馬牛小 校長
	山下 秀一	共和町立共和中 校長
監査	西 宏	札幌市立北陽小 校長
理事 (研究アドバイザー)	永根 祥一	札幌市立厚別北小 校長
	渡辺 一生	札幌市立あいの里西小 校長
	丹羽 洋彦	札幌市立緑丘小 教頭
事務局長	川見 明子	札幌市立東光小 校長
次長		
研究・研修部担当	小山 恒	札幌市立信濃小 教務主任
庶務・組織部担当:会計	荒木さとる	札幌市立平岡小 主幹教諭
広報・情報部担当	大嶋 悠基	札幌市立美香保小 主幹教諭
研究部	研究部長	中嶋 孝幸 北海道教育大学附属札幌小 教務主任
	研究副部長	助川 陽一 札幌市立大谷地小 教諭
		河田 弘康 旭川市立大有小 教諭
		水上 翔 釧路市立大楽毛小 教諭
		鎌田 尚吾 北海道教育大学附属函館小 教諭
		西山 洋平 留萌市立緑丘小学校 教諭
		中尾 隼人 北見市立三輪小学校 教諭
		瀬尾 祐貴 名寄市立名寄小 教諭
		土岐 龍大 共和町立北辰小 教諭
	研究部 研修担当部長	北村 公則 札幌市立西小 教諭
組織部	研究部 研修担当副部長	明石 好未 札幌市立幌西小 教諭
	研究部 研修担当部員	山本 文郁 札幌市立南郷小 教諭
	三浦 南斗 札幌市立円山小 教諭	
	組織部長	渡辺 良太 札幌市立幌南小 教諭
	副部長	照井 史絵 札幌市立美香保小 教諭
情報部	部員	花岡 咲子 札幌市立美園小 教諭
		風間 ゆり彩 札幌市立厚別通小 教諭
		高橋孝一郎 札幌市立澄川南小 教諭
		鹿島 幸司 千歳市立末広小 教諭
		小川みどり 札幌市立太平小 教諭
		花田 瑞希 札幌市立緑丘小 教諭
		竹井 恵美 札幌市立新琴似南小 教諭
		笛山 雅司 大谷短期大学 教授
情報部	情報部長	武田 香織 札幌市立平岡中央小 教諭
	情報副部長	安部 央恵 札幌市立前田中央小 教諭
		佐藤 恵 札幌市立屯田北小 教諭
		山下 曜 旭川市立末広北小 教諭
		松田 和也 釧路市立鶴野小 教頭
		遠藤 哲史 長万部町立長万部小
		平野 清也 留萌市立留萌小 教諭
		宮内 盛一 北見市立南小 教諭
		林 琢磨 名寄市立名寄南小 主幹教諭
		福 一紀 倶知安町立俱知安小 教諭
会計部長		荒木さとる 札幌市立平岡小 主幹教諭